

事業所名

児童発達支援事業所くくる

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

1月

日

法人（事業所）理念	子どもの療育を通して、未来を育み、社会に貢献する。				
支援方針	子どもの発達に応じた支援をする中で、「デキタ!」「ウレシイ!」「タノシイ!」という体験を繰り返し提供します。 子どもたち一人一人が自分らしく社会の中で生活をしていく力が付くように、出来ること、好きなことを増やし、子どもたちの輝く姿を引き出します。				
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 意思表示が困難な子どもたちの、小さなサインから心身の異変に気付けるように健康状態の把握をする。 基本的な生活スキル(食事、排泄、手洗い、衣服の着脱等)の獲得ができるように支援する。 障害の特性に配慮し、日課の流れや時間を分かりやすく構造化する。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 様々な身体感覚や触覚を刺激し、運動機能、姿勢、バランス感覚、力の強弱、距離感などの発達を促し、丈夫な怪我をしにくい身体づくりをする。 姿勢、運動、動作の向上のため、作業療法士等による個別・小集団での訓練を実施。(体操、リズム、サーキット活動、製作活動など) 感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整の支援を行う。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 「大小」「色」「空間」「数」「形」などの概念形成習得のための活動を行う。 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促せるよう支援を行う。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 様々なあそびや人との関わりの経験を通して、沢山の言葉に触れ、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、言語の習得を促す支援を行う。 自分の思いを言葉だけでなく、指差しや身振り、サイン等、個々に合わせた方法で表出できるように支援し、自分の思いが伝わる経験を通して、コミュニケーション意欲の向上を図る。 言語聴覚士等による個別・小集団での訓練を実施。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びを通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。好きな遊びを他者と共有する経験を通して、他者や集団を意識する力を育む。 小集団の中で順番やルールを守ること、勝ち負けなど、スタッフや友だちとのやり取りを経験し、活動を通して他者との関わり方を知る。 個々に合わせた方法で見通しを立てることで、場面の切り替えや気持ちの折り合いを付ける経験ができるように支援する。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 未満児クラスでの親子療育の実施。 ご家族からの相談に対しての助言、個別相談の実施。 ご家族の方の相談、意見交換の場(グループトーク)の実施。 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育園、幼稚園等に情報共有。 就園先、就学先進路についての相談、助言。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関(保育園や相談支援事業所等)に様子を共有するなど連携を図る。 地域の児童館等に月に一回外出をし、地域の方との交流をする。 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 新人研修 法定研修(虐待、ハラスメント、感染症予防、BCP) 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節や社会イベントに合わせ、文化に触れるような行事の実施。(水遊び、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月等) 避難訓練の実施 				